

福津市社協だより

2021
11

赤い羽根共同募金って何に使われているの？



TOPICS

- P2～P3 …… **特集「赤い羽根共同募金は福津市の地域福祉のために使われます」**
- P4～5・P8 …… 小地域かわら版～若木台3区自主防災会の取り組み
- P6 …………… あんしん安らか事業のご紹介／遺贈による寄付を受け付けています
- P7 …………… 株式会社ダイナム様から寄付をいただきました／連載 こんにちは！民生委員です！

この広報誌は赤い羽根共同募金の配分金により発行されています。





赤い羽根共同募金は 福津市の地域福祉のために使われます



「赤い羽根共同募金」とは？

赤い羽根共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるための活動を支える募金です。毎年10月1日から12月31日までの間、募金運動が全国一斉に展開されます。福津市内でご協力いただいた募金は、福岡県共同募金会に送金後、73%が福津市に配分されます。残り27%は県内の福祉施設の整備や、災害時の準備金に活用されます。

福津市では、自治会を通じ、地域住民のみなさまに協力をお願いする「戸別募金」をはじめ、市内の商店・事業所のみなさまへの「法人募金」、市役所や学校、福祉施設への「職域募金」、学校や公共施設での「募金箱募金」、ピンバッチやクオカードなどを販売する「資材募金」など様々な方法で募金への協力をお願いしています。

募金の目標額について

赤い羽根共同募金は、福祉課題解決のために必要な活動を定め、その活動に必要な額を目標額として募金運動を実施しています。

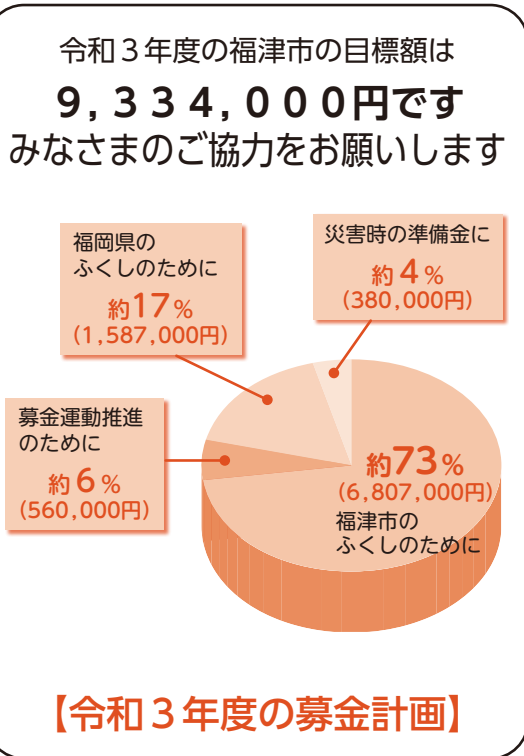
戸別募金で協力をお願いしている目安額（福津市は1世帯600円）は、この目標額を基にご案内させていただいています。

募金は任意で、強制ではありません。みなさまのできる範囲内でのご協力をお願いします。



赤い羽根応援大使
福岡ソフトバンクホークス
甲斐野選手からのメッセージ

「プロ野球選手として、プレーを見て元気になったり明るくなったりしていただきたいと思っていますが、このような形でもみなさまの力になりたいと思っています。今後とも、赤い羽根共同募金の活動をよろしくお願いいたします。」



児童・青少年の福祉に



市内小中学校での
ふくし体験教室など

ボランティア活動に



手話通訳や活字の点字訳・音声訳
をするボランティア団体の活動

障がい者の福祉に



車いすのまま乗れる車両の貸出しや
当事者団体の活動など

福津市内での様々な活動に赤い羽根共同募金が活用されています

高齢者福祉に



地域の居場所づくりなど

地域の福祉活動に



生活支援・見守りなどの
小地域福祉活動

災害に備えて



防災・減災の研修の実施など

その他様々な地域活動に活用されています。詳しくは「はねっと 福津市」で検索

色々な方法で協力できる

赤い羽根共同募金の募金方法

グッズ
の購入



福岡ソフトバンクホークス
コラボバッジ
1個500円



図書カード (500円分)
1枚1,000円



クオカード (500円分)
1枚1,000円

販売窓口	営業時間	お申込み・お問い合わせ
福津市社会福祉協議会 (ふくとぴあ2階)	平日 8時30分～17時	福津市社会福祉協議会 ☎0940-34-3341 ※ホームページからも受付中
ふくつ観光協会 (JR福間駅2階)	平日 9時～18時30分 土日祝 9時～17時	

口座
振込

募金振込のための口座を開設しています。

【募金口座】
西日本シティ銀行 福間支店 普通預金 1269541
しゃかいふくしほうしんふくおかけんきゆうどうほきんかいふくつししがいがいてつごんげんしやうし
社会福祉法人福岡県共同募金会福津市支会 会長 権現昭二

スマホ
から

スマホからインターネット
経由で募金できます。



新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮しながら、地域住民の有志やボランティアを中心に工夫し、福祉活動が展開されています。福津市内の地域福祉活動を応援し、募金という形で支援に参画して下さる個人・法人の方を随時募集しております。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

小地域

かわら版

普段からの地域のつながりで災害に備える…若木台3区の取り組み

若木台3区では、「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識のもと災害に地域で備えるために、自主防災の取り組みを始めました。日本各地で災害が頻発する中で、個人がそして地域が災害にどのように備えるのか考えます。



お話を聞いた方…末武 昭憲さん

令和2年度より若木台3区自治会長を務める。現役時代は警察官として県内各地で活躍。日課は犬の散歩。

「自主防災組織」とは？

大規模な災害が発生した際は、公的機関だけでは早期に実効性のある対策をとることが難しいため、自分自身で災害に備えておくことも、地域や近隣の人々が集まって、互いに協力し合いながら、防災活動に組織的に取り組むことが必要です。自主防災組織は、住民が「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識のもと自主的に結成する組織で、平時の研修会や災害危険箇所の把握をとおして防災意識の向上を図るほか、災害時には、情報の収集・伝達、住民（特に災害時要支援者）の避難誘導などの活動を行います。

社協

自主防災組織の取り組みを始めようと考えようになつたきっかけを教えてください。

末武

一番のきっかけは、令和2年9月の台風10号です。台風が来る前に、民生委員や組長が、気がかりな高齢者へ声か

社協

自主防災組織設立を目指して、区内福祉活動に取り組んでいた若木台3区サポートの会に協力を求めたのはなぜですか？

末武

今ある地域の活動を生かしたいと考えたからです。若木台3区サポートの会は、見守り訪問や日常生活の支援、買物支援など様々な活動に取り組んでおり、地域の高齢者や障がい者などと深く関わってきました。このつながりを防災にも生かすことができればと思います、若木台3区サポートの会の役員に話したところ、「地域のつながりを大切にして取り組みましょう」と協力してもらえらるようになりました。他にも買い物支援に関わっていた子ども会育成会の皆さんには避難の支援を、区内在住の高校生にはポスター作成に協力してもらっています。（ポスターは8ページに掲載しています。）

社協

子どもから大人まで活動に関わっていただくことは、地域に根差した活動になっていくために重要なポイントだと思



末武

要支援者の方々と普段からつながってほしいと伝えました。「最近家族と連絡を取っていない」という何気ない情報も、災害時には、避難について相談できる人や避難を促してくれる人がいないという心配になり得ると思います。回覧板を渡す時、分別収集の時、散歩で通りかかった時、日常の様々な場面で挨拶を交わし、何気ない会話をしているにつながついてほしいと思っています。

社協

避難指示でも避難しない人が、近所の「危ないから、逃げるよ」という声かけで避難したという事例がみられます。避難情報より地域のつながりが、地域のみなさんの命を守るためには効果的なものかもしれません。

末武

今後、どのような活動に取り組んでいくと考えていますか？

全市一斉防災訓練の際の避難訓練を要

災害に備えるために… 確認してみよう!!

□物の備え

発災時はライフラインや物資供給が滞ることが想定されるため食料品や日用品の備えは不可欠です。



□備蓄を始めよう



□大切な物をまとめておこう □非常用持ち出し袋を用意しよう

□室内の備え

家具等の転倒防止で地震に備えるほか、避難が円滑にできるよう通路を物でふさがないことも重要です。



□部屋の安全を確認しよう

□室外の備え

安全な避難のためには、家のまわりの状況や危険度を知っておくこと、避難経路を調べ、事前に歩いて確認してみることも重要です。



□危険箇所・避難先を確認しよう □災害情報サービスに登録しよう



□コミュニケーションの備え

家族と避難場所について話しておくことはもちろん、発災時には近隣の住民同士の協力が必要です。普段から近所の方とあいさつを交わし、防災訓練などに参加しましょう。



□家族会議を開こう



□防災訓練に参加しよう



防災すまっぼん! 『福津防災』にて、最新の災害情報や、防災マップ、災害に対する備え等の情報が提供されています。QRコードよりご覧ください。

社協

けをしてくれました。その際にある組長から、一人暮らしの高齢者が避難したいときはどうすればよいかとの相談を受け、行政と調整しながら対応しました。幸いにも避難を希望された高齢者の方は車の運転ができる方ででしたので避難所の場所や開設時間を伝えることで避難することができたのですが、そうでない方は避難に困るのではないかと疑問を感じるようになりました。また、民生委員や組長の動きを振り返り、地域で共に支える「共助」の大切さを感じました。

地域全体で災害に備えることの大切さを考えるようになったのですね。



車いすの使用方法を学習

社協

支援者の方々にも参加してもらい実施したいと考えています。また、災害時の避難について事前に定める災害時個別支援計画を自治会独自に作成していることも考えています。

最後に若木台3区への思いをお話しください。

若木台3区は日本一住みやすい町だと考えています。今があるのは先人たちがのおかげです。これからは私たちが作っていかねばなりません。みんなの手を取り、手を取られ合って、若木台3区をより良い町にしていきたいと思っています。

ありがとうございました。

末武

社協



あんしん安らか事業

よくある 問合せ

このような不安はありませんか？

- 夫(妻)に先立たれ、子どももいない。きょうだいも高齢で死後のことは頼めない。
- 自分が亡くなった後、葬儀や家財処分を頼める人がいない。
- 子どもに障がいや病気があり、死後のことは頼めない。
- 結婚しておらず、子どももいない。甥(姪)は居るが死後のことは迷惑を掛けたくない。
- 人生の最期も自分の意思で決めておきたい。



福津市社会福祉協議会では、身寄りがない高齢者などが、住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、**死後事務**について事前に預託金をお預かりし、**葬儀や家財処分等**が行える『あんしん安らか事業』を行っています。

死後事務のことで不安のある方は、一度、ご相談ください。

利用 できる方

以下の条件すべてを満たす方が事業の対象となります。

- ◆福津市内に居住する65歳以上の方
(同居者がいる場合、全て65歳以上の親族)
- ◆明確な契約能力を有する方
- ◆原則として子がない方
- ◆生活保護を受給していない方

《あんしん安らか事業を契約した方の声》

◆なぜ、『あんしん安らか事業』を利用したいと思いましたか？

→頼れる子どもも親族もない。自分が亡くなった後のことを考えると、きちんと準備しておかなくてはいけないと思い相談しました。

◆『あんしん安らか事業』の契約をした後、気持ちの変化はありましたか？

→死後のことについて、ちゃんと手続きしているから、いつ何が起きても大丈夫だと思うことができ、安心して生活できています。不安がなくなり、毎日楽しく過ごせています。

遺贈

による寄付を受け付けています

『遺贈』とは、遺言によって財産の全部または一部を相続人以外の者や団体に無償で譲ることを言います。

福津市社会福祉協議会では、皆さんが大切に築かれた財産を地域福祉の充実のために活用させていただきます。



お問い合わせ

福津市社会福祉協議会 ☎0940(34)3341

連載

こんにちは!!
広げよう! 地域に根差した 思いやり!

民生委員です!



宮司2区担当
上野 勝 さん

活動のモットー 「健康第一」

今回は宮司2区担当の上野さんにお聞きしました。

退職するまでは地域との関わりがありませんでしたが、組長になったことを機に地域と関わるようになりまし。当時の宮司2区自治会長の推薦で民生委員に就任し、以後5年にわたり民生委員として活躍されています。

児童に対する見守り、高齢者の見守り、一人暮らし高齢者世帯の生活支援の3つを柱に活動に取り組みされており、日々の活動から様々な相談に乗ることも多く、住民の一番近い相談者として地域に欠かすことのできない存在となっています。また、民生委員活動の傍ら、福津市が実施する高齢者の買い物やサロン等への外出を支援する「外出支援活動団体サポート事業」の運転ボランティアとしても活動し、宮司2区内に留まらず、区外でも活躍されています。

新型コロナウイルス感染症の影響で、思うような活動ができない状況が続いており、特にこれまで訪問して行っていた高齢者の見守りが難しくなっていると話いただきました。電話などの代替手段も使用しながら、安心して生活できる宮司2区であるために活動を続けておられます。

活動の源は自分自身が健康であること、「健康第一」をモットーに今日も地域のために活動されています。



高齢者の買い物支援に出発

(株)ダイナム様から 寄付を受けました

全国にパチンコ店を展開している株式会社ダイナムから、ティッシュやトイレットペーパーなどの日用品、レトルト食品や乾麺などの食料品の寄付をいただき、令和3年9月3日(金)に贈呈式を行いました。

ご寄付いただいた商品は、景品として店頭に並べられていたもので、入れ替えに伴い、店頭から引き揚げたものを、福祉のために活用してほしいとの思いからご寄付いただきました。

株式会社ダイナムでは、これまで全国各地の社会福祉協議会などにこのような寄付を行っています。

いただいた物品は、新型コロナウイルス感染症の影響などで、生活に困っている方々の支援などに活用します。



ご寄付いただいた物品は、福岡県・大分県の店舗から集められたものです。

募集

訪問介護員 (ホームヘルパー) 募集

初心者の方も歓迎です。月1回の研修会などで丁寧にサポートします。

賃金 時給1,200円~
(他活動手当、処遇改善手当など有)

無資格の方を対象とした資格取得支援も行っています。詳細は下記までお問い合わせください。

お問い合わせ ☎0940(43)5453



守り この地域と たい の 笑顔 顔

若木台3区 自主防災組織の取り組み

若木台3区では、災害に地域で備えるために、自主防災の取り組みを始めました。このポスターは、取り組みを周知するために若木台3区在住の高校生 砂本葵さんが制作しました。

詳しくは4～5ページをご覧ください